

第5回 霧島市中小零細企業振興会議 要旨

開催日時	平成28年9月28日(木) 10:00~11:30
開催場所	霧島市国分シビックセンター 701.702 会議室
出席委員	前田 義朗 会長、小川 貴弘 副会長、今川 渉 委員、大山 隆弘 委員、 稲垣 知成 委員、古川秀人 委員、今給黎 正己 委員、津田和 亨 委員、 前田 美千代 委員、山田まゆみ 委員、西重 保 委員、 古川浩史委員代理(山隈京子氏)
事務局	池田 商工観光部長、谷口 商工振興課長、 野崎 主幹兼商工観光政策グループ長、山中 主任主事、宮之原主事

○議題

- (1) 第4回会議概要の報告【議事要旨】
- (2) 中小零細事業者に対する経営課題等に関するアンケート
- (3) 事業者支援についての課題、事業者が抱える問題点、支援ニーズ等に対する対応策について

○議事

議事前に事務局から、平成29年度の継続等事業、また、これまでの会議内容を反映した平成29年度市の取り組み方針案等について説明。

(1) 第4回会議概要の報告【議事要旨】

事務局から資料2に基づき報告(基本方針に基づいた「事業者支援についての課題、事業者が抱える問題点、支援ニーズ等に対する対応策」について)

(2) 中小零細事業者に対する経営課題等に関するアンケート

アンケート調査の速報値を基にした集計結果により、企業の現状、課題等を整理し、今後の施策の方向性について検討したアンケート結果内容(中間とりまとめ)について資料3に基づき報告

今回のアンケート調査については、地域産業の振興を図り、持続可能な地域社会を形成していくことを目指して、地元企業の経営課題等を把握、分析し、霧島市に応じた事業者支援あるいは産業支援施策について検討するための基礎資料とすることを目的に実施。この取組は、地方創生事業の一環として、昨年度霧島市が作成をした霧島ふるさと創生総合戦略を推進するためにも貴重な実態調査となっている。今回資料の中間取りまとめを今後さらに詳細に分析し、改めて今後結果をお示しする予定。今回の中間取りまとめの資料構成は、調査実施の概要、調査結果の速報値に基づいた4つの視点で方向性を整理。それから仮説として今後の施策の方向性を検討案として整理。(詳細は資料3のとおり)

(3) 事業者支援についての課題、事業者が抱える問題点、支援ニーズ等に対する対応策(資料4、5)

について

中小零細企業の振興策を進展させるため、これまで振興会議において議論を進めてきた内容などから、可能なことから順次実行に移すことが重要であり、早急に市として取り組むべきもの、平成29年度予算編成に反映すべきもの、中小零細事業者アンケート結果に基づく支援ニーズなどに基づいて、優先的に取り組むべき対応策について、意見を求めた。各委員からの意見の概要については以下の通り。

セミナー開催について

- ・ 商工会、会議所などの支援機関においては、非常に多くのセミナーを実施しているが、集まりがよくない。直接出向いて声かけをするなど、何らかの形で参加への呼びかけ等、働きかけていかなければいけない。多岐にわたるセミナーが開催されている。ニーズに合うかどうかは受け手が決めればよい。資料で配布されている農商工連携等実践セミナーはとても良い内容である。
- ・ 農商工連携を図っていきたいが、なかなか取り組めていない。生産者、商工業者とのつながりは必要だと感じている。農家の方もなかなかセミナー等に出て行く方は少ないと感じる。JAとしても農家の方にセミナー等を案内していけると思う。
- ・ 商工会からセミナーの案内があればなんとか時間を作って参加はしているが、農家や商工関係の小さな経営をしている事業所は時間を作るのが難しいとは思う。声かけがあると参加しやすい。
- ・ 商工会、会議所、産業支援センターなどで反応がよかった内容などを開催するようにしているが、実際のニーズがどこにあるのかというのはわかりづらい。委員の方からセミナー内容の要望などがあれば伺いたい。
- ・ 著名な講師や成功事例などの内容であると謝金や講師依頼で大変かもしれないが、興味を持って参加してもらいやすいのではないかと。また、分野が異なると、参加はしにくい。
- ・ 興味を引くセミナーがあっても、参加に踏み切るまで至らないことも多い。声かけも大事であり、魅力ある誘い文句や参加しやすいセミナーの開催なども実施してもらいたい。
- ・ 地域のニーズにマッチした提案（セミナー）もしていかななくてはならない。
- ・ 各団体も各種セミナーを数多く企画していて十分な数がある。セミナーのほかにも、高校や大学等の教育機関との連携も含めたセミナーも入れて欲しい。地元の中小企業を知ってもらうためにも教育機関との連携も大事である。同友会でも県内の大学等に講師派遣で出向き我々の企業を知ってもらうなどの取り組みをしている。こちらから出向いて企業を知ってもらうことも大事である。県外の同友会でも教育機関に講師派遣されている。教育機関との企画の進め方などを学ぶ委員向けの研修もあってもいいのではないかと。
- ・ 商工会、会議所でも多数のセミナーを行っている。会員以外の方へも広く参加を呼びかけるために、行政のほうで周知広報をしてもらえるのであれば、いろいろなセミナーを知る機会が増え、参加者も増えるのではないかと。

教育機関との連携については、霧島市でも霧島市内の大学と初めて合同企業説明会を企画したが、日程が合わず実施できなかったとのこと。今後もぜひ続けていただきたい。

- ・ 経営関係のセミナーについては、多種多様なものが実施されているが、アンケート結果にもあるように、事業所は人材の確保に苦労していることがわかる。行政では、生徒や学生向けに地域の現状を

知ってもらい就職につなげるためのセミナーを実施する方法もひとつの手段ではないか。

域外の販路開拓支援について

- ・ 金融機関として、販路を見つけたいという取引先には積極的にセミナーや商談会等を紹介している。自身で県外等との接点がみつけれないという取引先には積極的に県外等へのビジネスマッチングの機会提供の取り組みをしている。
- ・ 商談会などを広く周知していても、参加企業が多くないのが実情である。
- ・ 零細企業にとって自社の技術力等を最もPRできる機会は商談会。県等の商談会参加募集に漏れ自社での参加となると、一回の商談会で数十万円はかかってしまうため、市の助成金があると参加しやすい。商談会等に積極的に参加しないと名前を覚えてもらえない。参加すれば、即商談につながることは少ないが、2年後に取引が生まれるなどの結果がでたりする。
- ・ 指宿市が主催で東京でホテルを借りて毎年商談会を行っている。メーカーや商社、直接飲食店を営む方など200名程度集めて実施している。行政主催の商談会も手段の一つだと思う。
- ・ 市の補助があると事業所も参加しやすくなる。利用者からは申請手続きは難しくはないとのこと。過去に商談が成立した方が参加に意欲がある気がする。行っても商談につながらないのではという気持ちもあると思う。
- ・ 商談会に参加した際、バイヤーに対し、売り手側のプロが霧島市の商品をまとめて説明すると、より商談につながりやすくなると思うので、そのような人の派遣もいいのではないかと。また、経営者が前向きになれるよう、成功事例の紹介などもしてみてもどうか。
- ・ 商談会の参加が最も効果的との意見が前回あったが、商工会でも会員の事業所に商談会参加を呼びかけ参加されると、独自で商談をする際にどうしても霧島市のことも紹介しながら商品の説明をしないと相手に分かってもらえないことが多い。市の商談会とまではいなくても、1年をとおして3回ほど霧島市として参加し、そこに事業所を呼びかけるのも1つの手段である。

(事務局)

市の展示会ブース等補助金は次年度も継続する。今後も周知していきたい。

空き店舗の活用及び創業支援について

- ・ 他市においては、インキュベーションセンターに小さなブースを設けて、創業者が少額の費用で事業をスタートしやすい環境を整えている。空き店舗だと飲食業や小売店が入りやすいが、小さなブース1つでも事業を始めることはできる。
- ・ 市空き店舗情報を市または不動産で探すのか、分かりやすい情報収集手段が必要ではないか。
- ・ 創業相談で来られる方々は、併せて物件も探している。しかし空き店舗情報を取り扱う一元的な窓口がないので、情報提供が出来ない。市内物件のデータベース化を行うなどの仕組み作りも必要ではないか。

(事務局)

ストックバンク事業について。

市内空き店舗等の情報公開を平成26年度から実施し、これまでに延べ登録31件があり、現在は13件の登録がある。登録の内訳は国分地区8件、隼人地区4件、牧園地区1件であるが、なかなか

登録物件の増加に至らない。そのためストックバンク事業周知のため、登録物件の増加を促進するためのチラシを作成した。今後は、宅地建物取引業協会や各通り会を通じて周知していきたい。

自宅兼店舗の物件も補助の対象となっている。

- ・ 13店舗は少なく感じる。ストックバンクへの登録促進のためにも、空き店舗等を活用した創業者への家賃補助事業をしていただきたい。
- ・ 空き店舗の所有者はPC等を見ることの出来ない年配の方も多いため、ホームページ以外の違った方法での周知も考えていただきたい。

○その他

- ・ 前回会議で意見のあった霧島市ふるさと納税の返礼品についてご報告。
- ・ 他市のようにふるさと納税のPR動画は、霧島市でも作成しているか。市として街のPR動画は作成しているが、ふるさと納税に特化したPR動画は作成していない。
- ・ 第4回振興会議で意見の挙がった市の移住定住事業と連携した若者の新規創業者の促進については、市ホームページにある移住定住から空き店舗情報のページに飛べるようリンクを貼り付けた。また空き店舗を活用して開業した創業者の声も掲載している。今後は市のSNSも活用しながら、霧島市での新規創業を促していきたい。

○今後の対応等

- ・ 会議で出た優先的に取り組むべき事業については、可能な限り平成29年度当初予算へ反映できるよう要望していきたい。ただし、すべてを反映できないことが想定される。その際は、事務局及び会長、副会長において協議。

会議で出た意見については、事務局で整理して、次回までに再度お示しすることになる。

- ・ 次回会議について（資料6）

本年度予定の3回の会議を検討シートの協議のため、4回とし、次回の会議（懇親会含む）は11月下旬～12月上旬頃予定。

○会議資料

- ・（資料1）第5回霧島市中小零細企業振興会議 会次第
- ・（資料2）第4回霧島市中小零細企業振興会議 議事要旨
- ・（資料3）中小零細事業所に対する経営課題等に関するアンケート
- ・（資料4、5）事業者支援についての課題、事業者が抱える問題点、支援ニーズ等に対する対応策について
- ・（資料6）今後の会議日程について